

みんなの口コミ大公開！



共働きに 理想の街

販売予定の
マンション特集

価格公開
マンション特集

妻vs夫 家探し
食い違い解消法

マンション情報読み取り術



連載

マンション暮らしInstagram

今週の住まいNEWS

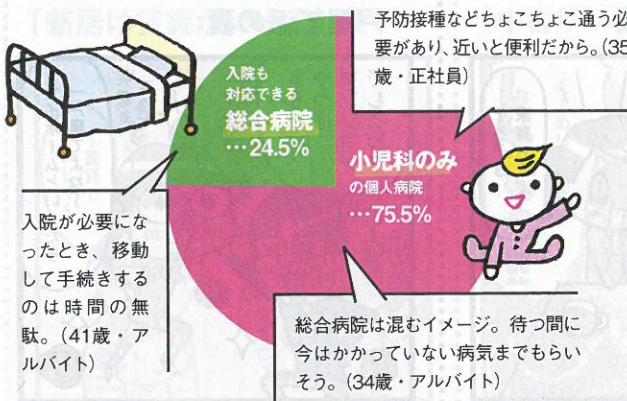
スームマンガ

2016.11.8 毎週火曜
発行



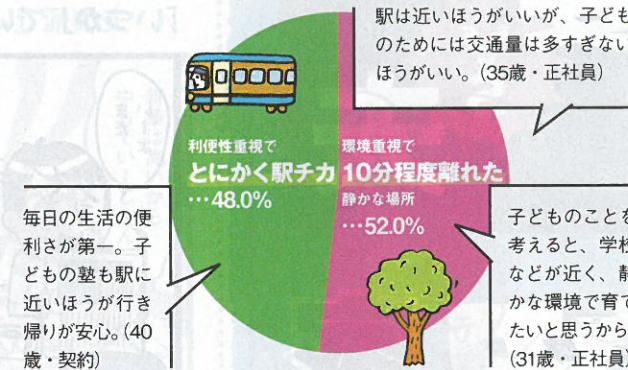
RECRUIT

Q 医療環境、選ぶならどっち？



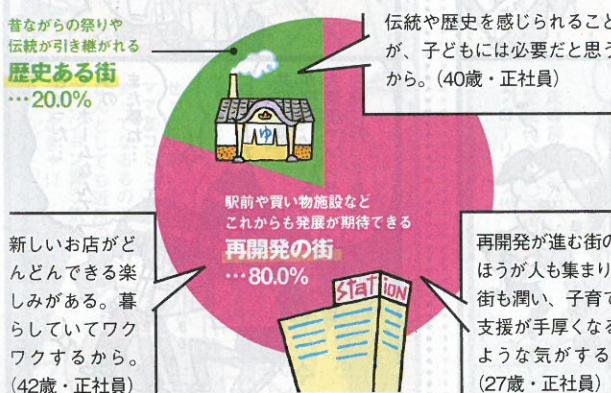
子どもが小さいうちは予防接種や定期健診など病院に行く機会が多いことから、入院が必要となる緊急時より、気軽にに行けることを重視する人が多いようだ。

Q 最寄駅までの距離、選ぶならどっち？



子どものためを思うと「なるべく環境は静かなほうが」という声が多数。また「利便性も重視したいが、10分程度なら遠いと思わないで環境を選ぶ」という声も。

Q 街の雰囲気、選ぶならどっち？



「再開発の街」は便利さ、建物の耐震・防災、行政のサービス面がポイントに。一方、「歴史ある街」を選んだ人は、教育的なメリットを挙げる人が多かった。

Q 家族で過ごす休日、選ぶならどっち？



子どもを自然のなかで遊ばせたい、お金があまりかからないとの理由で「大きな公園」を選んだ人が多数。「大型商業施設」もインドアで過ごせる快適さなどで人気。

両立のプロが伝授！働く女性の街選びのコツ



ワーク・ライフバランス
浜田紗織さん

「ワーク・ライフバランス」では、企業に対し仕事と家庭が調和する働き方を提案・支援。浜田さんは仕事と育児の両立支援システム「armo」を担当。3人の子育て経験を活かしながら企業へのサポートを行う

通勤

家事育児の分担を考えてから街選びを

通勤時間が短いほうが家事・育児を負担するのが当然、となりがちなので、通勤アクセスを考える前に、子どもの送迎などの分担について夫婦でよく検討を。また、住まいを実家の近くに購入する場合も、本当に協力が得られるのか、よく話し合いましょう。

生活利便性

自身の買い物スタイルに合った環境か判断を

周辺にどんなお店があるのかも大事ですが、日々買い物をするのか、まとめ買いをするのかなど、買い物の仕方もよく考えて。例えば、宅配がメインなら、近くにスーパーがあること以上に、好きなお店の配達圏内か、不在時の受け取りが可能なども重要です。

子育て環境

子どもの成長などを10年単位で考えて

子どもの成長に応じ、必要な環境は変わります。10年後を考えつつ、いざとなったら引越しすることも視野に入れておくと安心です。また、医療費助成などの行政サービスは自治体により大きな違いが。駅や沿線に加え、何市・何区かも考えて物件を選ぶことが大切です。

次回は11月15日(火)「働くママの成功の鍵は家にあり」